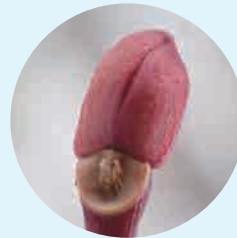




ツリーウォッチングの楽しみ

最近が残雪がかたくなり、晴天の日も増え、スノーシューを履いての森歩きが快適に楽しめるようになりました。それができるのも残りわずかですが、とっておきの楽しみ方をお伝えします。

一人静かな森のなか、木々の枝先をじっとみてまわります。葉が枝から落ちたところに残る痕（葉痕）と、葉に水や養分を送っていた管の痕が、何となく顔にみえてくるのです。ツヤのあるきれいな赤色の帽子を被った小人さん（ネジキ）や、不気味さを感じるほどのニンマリ顔の人（ヤチダモ）など、次から次へと愉快的な仲間たちが出迎えてくれます。



ネジキ



ヤチダモ



ミドリシジミの卵

また、枝をみていると、時々ちがうものもみつかります。ハンノキの枝には、直径1mmほどの白いお饅頭がついていることがあります。なんとこれは蝶の卵！ミドリシジミという蝶のものです。

そして、じっと目を凝らすことに疲れたら、白い雪の上に寝そべてみます。真下から眺めるダケカンバは、太陽の光で輝いた木肌が青空に映えて、ドキドキするほどきれいです。葉が落ちている今だからこそ、木そのものの立ち姿（樹形）にも魅かれます。

芽吹きを待つ森は、ひっそりとした印象ですが、意外にもツリーウォッチングの新しい魅力をたくさん発見することができます。これからのぎやかな季節がやって来ますが、こういった静かな楽しみが名残惜しくもある今日この頃です。



真下から眺めたダケカンバ



ようこそビジターセンターへ

裏磐梯の春を先取り！



展示室の壁に、春の花を紹介する「春の花コレクション」が登場しました。ここでは、裏磐梯でみられる春の花を、春の妖精、野に咲く花、木に咲く花、水辺に咲く花、カエデの花に分けて写真で紹介しています。

春先にしか花がみられない「春の妖精（スプリング・エフェメラル）」と呼ばれる植物たちの可愛らしい花の写真や、あまり注目されていないカエデ類の花の写真などがみどころです。

花が咲くのが待ち遠しいですが、ぜひ「春の花コレクション」でお気に入りの春の花を探してみてください。また、実際に花が咲いてからは、展示をみて気になった花を自然のなかに探しに行ったり、散策中にみつけた花の名前を調べたりして楽しんでください。



▲春の花コレクション